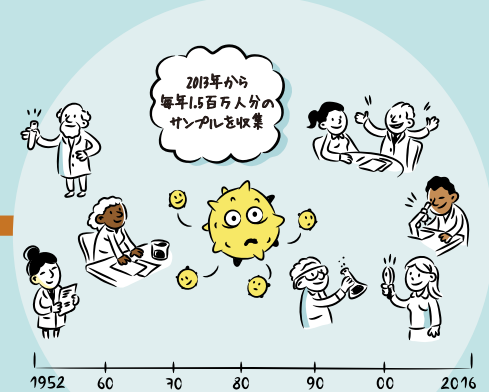
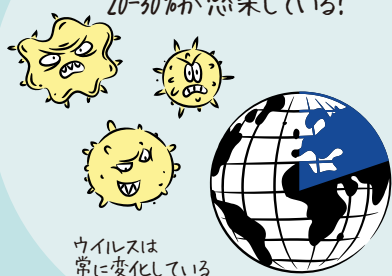


# インフルエンザウイルスから ワクチンができるまでの胸躍る旅

製造までのウイルスサーベイランス活動

インフルエンザ

毎年、世界中の成人の  
5-10%及び子供の  
20-30%が感染している!



グローバル インフルエンザ サーベイランスは世界保健機関(WHO)によって運営されています  
GLOBAL INFLUENZA SURVEILLANCE and RESPONSE SYSTEM (GISRS)

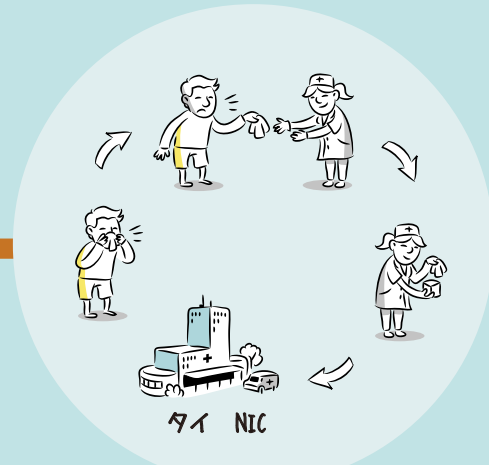
世界中で何千人もの科学者が協力してウイルスと感染症例のサーベイランスデータを分析しています



各国のセンターは代表的な臨床検体と共に単離したウイルス株をWHOと連携する6つの研究機関へ送付します



110か国を超える国々は、そのようなセンターを設立し、臨床検体を収集してWHOのネットワークの実質的な支援を受けています



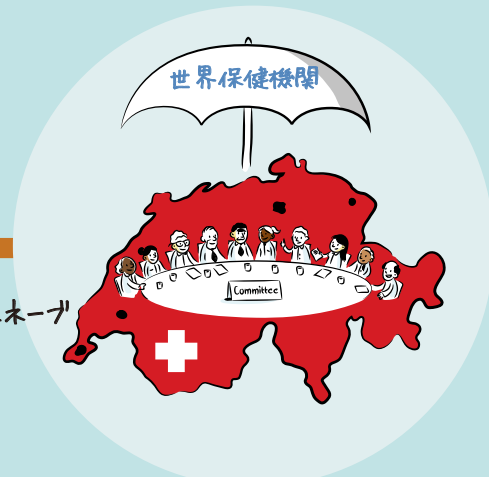
あらゆる国々で医師は患者からウイルスサンプルを採取し、各国のインフルエンザセンター(NIC)へ送付します



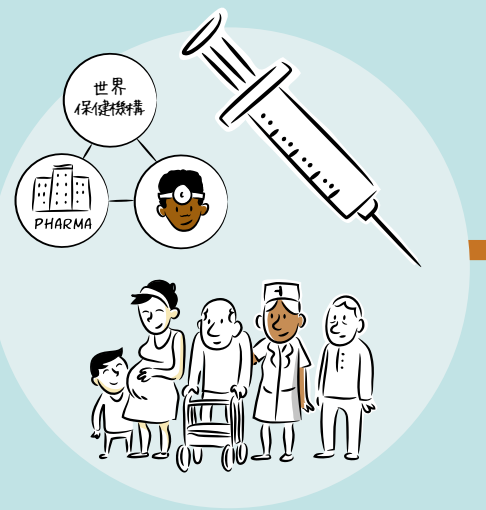
これらの6研究機関はウイルス株を受け取り、抗原性及び遺伝子を先進技術を使って解析します



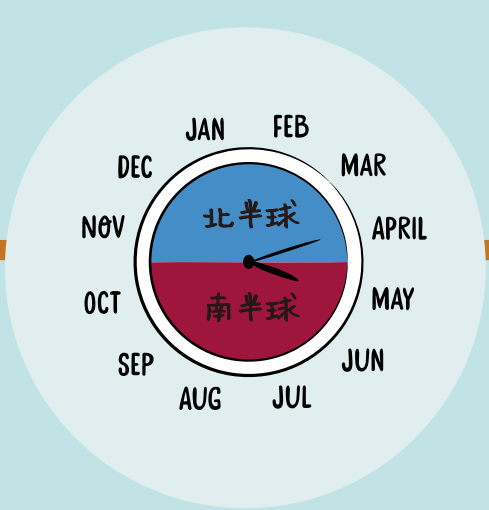
これらの研究機関はウイルス株の変化を監視し、新しいワクチンの組成を決めます。次に、彼らは特殊な研究所へウイルス株を送り、そこでワクチン製造に使われる特殊な形態のウイルスが開発されます



インフルエンザワクチンの組成を決定するWHOの科学委員会は年に2回の会議を持ち、どのウイルス株をワクチン製造に用いるべきかを決定します



優先してインフルエンザ予防接種を行う集団: 6-59か月齢の子供 - 妊娠中の女性 - 高齢者 - 保健従事者 - 特定の慢性疾患を患う者



何千人もの保健従事者、科学者、および世界中のワクチン製造者が年間を通じて共同作業することはワクチン開発のための重要なステップです



毎年、選定されたウイルスは世界中のワクチン製造施設に送付され、大量、高品質および決められた納期内でワクチン製造が開始されます

1: WHO SAGE POSITION PAPER ON INFLUENZA VACCINES, NOVEMBER 2012

[HTTP://WWW.IFPMA.ORG/RESOURCE-CENTRE/THE-EXCITING-JOURNEY-FROM-FLU-VIRUS-TO-VACCINE/](http://www.ifpma.org/resource-centre/the-exciting-journey-from-flu-virus-to-vaccine/)